学校図書館全体計画

令和７年度

江戸川区立南小岩第二小学校

学校教育目標

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

・考える子
・思いやりのある子
・健康な子

・児童は読書する意欲が高い。
・保護者は教育に対して協力的である。

学校図書館の目標

・本好きな子供を育てる。
・本で学ぶ子供を育てる。

ねらい

・学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を養う。

指導の重点

学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・本を楽しんで読もうとする児童を育てる。 ・本好きな児童を育てる。	第三学年	・いろいろな種類の本をすすんで読もうとする児童を育てる。 ・調べ学習に意欲的に取り組む児童を育てる。	第五学年	・読書の幅を広げ、感動や思いを表現できる児童を育てる。 ・課題解決に向けてすすんで情報収集し、調べ学習に意欲的に取り組む児童を育てる。
第二学年	・本の楽しさが分かり、本を好きになる児童を育てる。 ・自分の世界を広げ、豊かに表現できる児童を育てる。	第四学年	・いろいろな種類の本に親しみ、読書の幅を広げる児童を育てる。 ・調べ学習に意欲的に取り組む児童を育てる。	第六学年	・読書を通して心情を豊かに表現する児童を育てる。 ・学び方を身に付け、課題解決に向けてすすんで情報収集し、効果的に活用する児童を育てる。

具体的な取り組み

各教科について
○学校図書館の図書資料を利用して情報収集をする。
○疑問や課題解決のために図書資料や情報通信ネットワークを活用する。

読書科について
○学校図書館を活用した調べ学習を推進するとともに、読書の習慣化を図る。
○小岩図書館との連携（週に１回司書さん来校）

総合的な学習の時間について
○問題解決のための情報収集の場として活用する。

特別活動について
○学校図書館の利用に必要な基礎的な知識や方法を習得させ、主体的に学ぶ態度を育てる。

特別の教科　道徳について
○教科書等の発展で学校図書館を利用する。
○読書の幅を広げ、豊かな心情を育てる。

家庭・地域との連携について
○学校応援団「読み聞かせ・図書室整備」との連携
○地域の読み聞かせボランティア「ずんずん」の活用
○小岩図書館の活用（貸出カードを紐づける）
○図書ボランティアによるブックトーク

朝読書や読み聞かせ　ブックトラック配置　春・秋読書週間の充実　図書環境の整備・充実

令和７年度学校図書館全体計画

江戸川区立南小岩第二小学校

例　1

学校教育目標

よく学ぶ子
思いやりのある子
元気な子

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

多くの児童が本好きで、読書量も増加しているが、調べ学習等で図書館を利用する機会は少ない。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う

ねらい

① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
② 学び方指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕
○ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
○ 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
○ 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕
○ 「アニマシオン」「読み聞かせ」等による読書を推進し、習慣化させる。
○ 図書館資料を活用した「調べる学習」を行い、整理・分析し、表現する力を養う。

〔総合的な学習の時間〕
○ 学び方や考え方を身に付けさせる。
○ 課題の解決、探究に主体的に取り組ませる。
○ 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕
○ 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
○ 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔特別の教科　道徳〕
○ 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域との連携〕
○ 年２回の読書週間による親子読書を推進する。
○ ボランティアや公立図書館と連携する。

朝読・昼読の推進　推進組織の確立・充実　図書館経営評価の実施　図書環境の整備・充実